

旧臼杵藩主 稲葉家



稲葉氏は元伊予の河野一族で、斉藤道三や織田信長に仕えた武将でした。数々の武勲をたてた稲葉一鉄は稲葉家三代目、四代目の貞通は一鉄の次男で、関ヶ原の戦いの後、岐阜の郡上八幡から国替えとなり初代臼杵藩主となりました。それ以降、明治を迎えるまでの約270年間、臼杵を統治しました。

江戸期の大奥で日本の歴史を動かした春日局（一鉄の姪の娘で一鉄の長男重通の養女でもある）により、稲葉氏の一族はさらに名門として地位を高めました。



稲葉貞通公肖像画 月桂寺所蔵

町並みガイド

団体名	TEL	料金	案内地域
ボランティアあらかしの会	0972-63-1894	無料	町並み散策エリア 臼杵石仏等
ツーリズムうすき うすき町並みガイドの会	0972-63-7898	有料	町並み散策エリア
臼杵石仏 ボランティアガイドの会	0972-65-3300 (石仏事務所)	無料	臼杵石仏

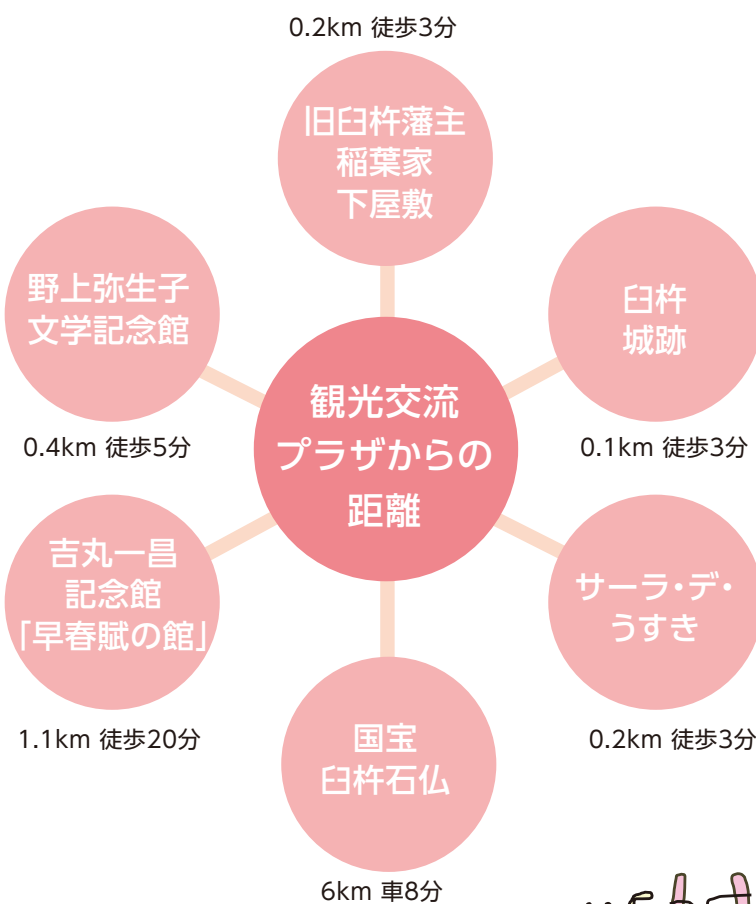
※ガイドさんの説明を聞きながら一緒に散策もできます！
詳しくは上記の番号へお問い合わせください♪



各施設料金表

施設名	TEL	料 金
臼杵市歴史資料館(火曜日休館)	0972-62-2882	大人(高校生以上) 320円 小人(小中学生) 160円
旧臼杵藩主稲葉家下屋敷	0972-62-3399	大人(高校生以上) 320円 小人(小中学生) 160円
野上弥生子文学記念館	0972-63-4803	大人(高校生以上) 300円 小人(小中学生) 150円
吉丸一昌文学記念館『早春賦の館』	0972-63-7999	大人(高校生以上) 210円 小人(小中学生) 110円
国宝 臼杵石仏	0972-65-3300	大人(高校生以上) 540円 小人(小中学生) 260円
ヤマコ臼杵美術博物館	0972-65-3080	大人(高校生以上) 400円 小人(小中学生) 200円
風連鍾乳洞	0974-32-2547	大人(高校生以上) 800円 中学生/600円 小学生550円

お得な共通券あります！			
2施設共通券	国宝臼杵石仏、ヤマコ臼杵美術博物館	大人(高校生以上) 小人(小中学生)	710円 400円
4施設共通券	国宝臼杵石仏、旧臼杵藩主稲葉家下屋敷、 野上弥生子文学記念館、吉丸一昌記念館	大人(高校生以上) 小人(小中学生)	1,100円 540円



お問い合わせ先

臼杵市観光交流プラザ TEL.0972-63-1715
FAX.0972-64-1771

イイナイコウ

城下町臼杵を巡る 定番コース



距離:1.6km 所要時間:1時間30分 消費カロリー:37kcal

うすきあるき MAP

城下町臼杵の主要観光スポットを詰め込んだ定番コースです。
初めて臼杵を訪れる方や、お友達に紹介するのにオススメです。
アップダウンも少なく比較的ラクに歩けます。



うすきあるきとは？

マップを片手に自分のペースで好奇心のおもむくままに色々なところで立ち止まりながら臼杵の町歩きを楽しめるコースです。



ゆっくり、ゆったり臼杵時間

① 稲葉家下屋敷



旧臼杵藩主稲葉家が帰郷の際の屋敷として明治35年に町の有志により建てられました。薬医門、千鳥破風の屋根、式台玄関、書院造りなど、江戸時代末期の上級武家屋敷の建築様式を色濃くとどめています。広々とした庭園からは、殿様の住まいらしい壮麗で風格のある屋敷の姿を目にする事が出来ます。

この付近は、臼杵城の三の丸で、老若や用人役の上級武士の居住地でした。当屋敷の奥には、安政6年(1859)に建てられた家禄二百石の上級武士の平井家住宅(県指定有形文化財)が現存しています。

稲葉家下屋敷は平成20年、国の登録有形文化財に登録されました。

入館料：大人320円 小人160円

② 荘田平五郎記念 こども図書館



福沢諭吉のもと、慶応義塾で教鞭をとり、岩崎弥太郎一族の三菱で大番頭として活躍した荘田平五郎が大正7年に建て、郷里臼杵に寄贈した図書館です。今は、こども図書館として利用されており、2階は、大正時代の図書館をイメージさせる量の部屋で構成されています。荘田平五郎は、子供たちに尊敬され、最も人気のある臼杵の先人の一人で、キリンビールの名付け親でもあります。建屋は、国の登録有形文化財です。

③ 野上弥生子 文学記念館



文化勲章受章者で、女流文学者として一世を風靡した野上弥生子の生家です。記念館には、夏目漱石や芥川龍之介との親交が深かった弥生子の遺品200点あまりが展示されています。

入館料：大人300円 小人150円



臼杵城跡

お時間のある方は観光交流プラザ後方の臼杵城跡へ！歩いてきた町並みを一望できます。大門櫓のぼって右側の階段へどうぞ！

④ 久家の大蔵



江戸時代後期に建てられたこの酒蔵には、臼杵市がポルトガルのロジェリオ・リベイロ氏に依頼したアズレージョ(装飾タイル壁画)が施されています。外壁画は、大友宗麟時代の臼杵とポルトガルとの歴史の経緯が描かれており、屋内のアズレージョはカトリック教の洗礼を表現したもので、外壁には戦国大名大友宗麟が洗礼をうけているモチーフがあります。

⑤ 二王座歴史の道



大友宗麟時代から街道筋として役割を果たした道です。江戸時代には、武家住宅と寺院とが混在する景観をつくり出していました。この地区は臼杵を代表する景観の一つで、平成5年には国の都市景観100選に選ばれました。また、臼杵の歴史と文化を伝える“歩く歴史博物館”ともいわれています。二王座は約9万年前の阿蘇噴火で形成された阿蘇溶結凝灰岩の丘です。街道筋を確保するため、あちこちに凝灰岩を切り割ってつくられた「切通し」の道があります。旧真光寺は、安政2年(1855)に建立された建物で、休憩所として観光客の皆様に利用して頂いています。

⑥ サーラ・デ・うすき



サーラとはポルトガル語でサロンの意味で、臼杵市街地の応接間です。大友宗麟時代に日本で初めて臼杵につくられた宣教師を育てる学校である“ノビシャド(修練所)”を模写した建物です。南蛮資料館として、観光客と市民の皆さんがふれあう場として、イベント等、多目的ホールとして使用されている施設です。

観光交流プラザへ
お疲れ様でした！

USUKI

城下町臼杵を巡る定番コース

1

